

公民館を核にした地域における社会教育活動の実態と住民の意識について

1 調査の経緯

- H26. 4.23 県社会教育委員会議から事務局に標記テーマによる詳細調査指示
- H26. 6～7月 調査の企画・準備
- H26. 8～9月 調査の実施
- H27. 2.12 結果の報告

2 調査の企画骨子

- ① 事務局の労力や予算の範囲内で可能な限り県内全体を調査対象にできるよう、かつ県内にある様々な特性をもったエリアをバランスよく調査できるように東・中・南予地域から3か所ずつ対象エリアを選出したうえで、更に東中南予それぞれで都市部・住宅部・小集落という地域特性をキーワードに設定して、合計9か所の調査対象公民館を選定した。
- ② 選定した対象公民館毎に、
- ア 地域住民の公民館に対する意識を把握するために、地域にある学校の協力を得て保護者に対するアンケート調査を実施した。
- イ 公民館運営を支えている人々の実態や意識を把握するため、公民館長・自治会長・学校長（公民館運営審議会委員）・地域の若者組織の代表者を訪問・面会して聞き取り調査を実施した。
- ※ 事務局職員のほか讃岐委員、橋本委員（県公民館連合会会長）にもご協力いただいた。

3 調査結果

- アンケート調査結果 【別紙1】
- 聞き取り調査結果（要旨）
- I 公民館長 【別紙2-1】
- II 自治会長 【別紙2-2】
- III 学校長 【別紙2-3】
- IV 地域の若者組織の代表 【別紙2-4】